

今回はケアに関する巷の話題、エッコロ共済、エッコロ委員会を構成する部会の紹介、をお届けします



介護民俗学を知っていますか

「2024年4月27日付朝日新聞土曜版be」の記事より紹介します。

民俗学の研究者であった六車由実さんは、のちに介護の現場に入られました。そこでの体験で、民俗学の「聞き書き」の方法が役に立つとわかり、介護民俗学を提唱し実践されています。

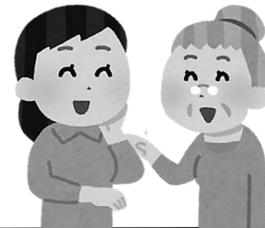
「聞き書き」とは、相手を敬い、相手の人生に関心を持ち、ただ聞く、書きとめる、理解する。

「聞き書き」には、みんなが集まっているところでも行われ、周りの人も質問に参加してくる「開かれた聞き書き」もあります。興味を持って話を聞かれ

ると、語りは熱を帯びてくる。中学生の頃競馬場で馬券を売っていた話をしていたかと思うと、パン工場での苦労話に話が飛ぶ。脱線しても軌道修正しない。30分ほど語った後「昔に帰りたくなるよ」という女性。「共感したり驚いたりする人がいると、話し手自身がしてきたことの価値を思い直す意味があるのかもしれない」と六車さん。

聞き書きをまとめた冊子は、劇、かるた、記憶の味の再現、未編集のまま家族へ渡すメモなど、その人の人生をさらに深く振り返ることに使われるそうです。

あなたも、身近な高齢の方に、若い頃の話聞いてみませんか。その方は自分の価値を認識し、あなたは相手への理解が深まり関わり方のヒントを得られるかもしれません。



エッコロ共済 暮らしのたすけあい ～こんなことにも使えます

急な残業で困ったときに子どもを預かってもらった

(2024.3.21～申請可能になりました)

⇒ケア者に1回600円のケア給付金



※エッコロ共済加入申請希望の方は下記の申請書を提出してください。

注文書の記入・提出が身体的に困難なためサポートしてもらった
⇒ケア者に1回100円のケア給付金

◎いずれの事例も、双方がエッコロ共済加入者であること
詳しくはエッコロ事務局にお問い合わせください

エッコロ事務局 072-641-5811(FAX可)

月、水、金 10時～15時



エッコロ共済
ガイドブック



エッコロ共済 HP

裏面もみてね!

キリトリ

エッコロ共済加入申請書 申込日 年 月 日 戻り先:茨木本部エッコロ事務局
お名前 _____ 組合員コード _____

※記入された情報は規則に沿って管理し、生活クラブ生協大阪の活動以外の目的には使用しません。

お問合せ先 生活クラブ生協大阪組織運営課 072-641-5547



エコロ委員会で大阪のたすけあいの仕組みづくりについて一緒に活動している部会の一つ、**がっこう部会**の活動を紹介します。
がっこう部会は**里山のがっこう**を運営しています。

おいでよ！ 里山のがっこう

主に京都の南山城村童仙房地区と伊賀有機農産供給センターで活動しています



里山のがっこう これからの予定

- ・森遊び ・稲刈り
- ・里の暮らしに学ぶ
- ・あきのがっこう 2泊3日
新米パーティー、星空観察会
- ・ふゆのがっこう 1泊2日
おもちつき などなど



よもぎを摘んで
お団子づくり



24年度の募集は終了しましたが、がっこう生（小3～中学生）の人数に少し余裕がありますので、興味のある方は生協 組織運営課（TEL 072-641-5547）までお問い合わせください。がっこう部会より折り返しご連絡いたします。

右の2次元コードから今年3月に開催した説明会の参加者募集チラシを見ることができますので、活動の詳細をご確認ください。



里山のがっこう 詳しくはこちらから➔

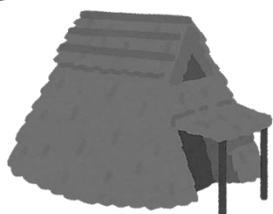


【里山のがっこう番外編】

伊賀有機農産供給センター

大地の広場に

竪穴式住居をつくろう！



海の向こうの争いによる悲しいニュースが連日流れてきます。奪い合いと反対の「分け合う」ことで争いがなかったという説もある縄文時代。その象徴である竪穴式住居を2年計画で作る予定です。こちらは大人だけの参加も可能です。月に1度（主に第4日曜）活動予定です。

興味のある方はこちら組織運営課までお問い合わせください。